

アート × ものづくりの循環



魅力的なキャラクター
が生まれる場所

まどか（宮城県仙台市）

パン屋を併設し、カフェも営業している仙台市の福祉施設、まどか。アート活動をはじめ、繭を使ったオリジナル商品やシルクスクリーンでの印刷作業など、その創作活動は多岐にわたります。アート活動をしている施設では、描いた絵を商品に落とし込むのが一般的ですが、まどかのものづくりはひと味ちがいます。先にキャラクター商品が生まれ、それを見てメンバーがイラストを描き、それがまた商品になるというアートの循環が生まれているのです。

愛されるキャラクター「パオー」の誕生

施設内に焼きたてのパンのいい香りが立ち込めるなか、黙々と絵を描いているのは清水敬太さん。2013年よりエイブルアート・カンパニーの登録アーティストとして活躍しています。彼の描くものは身近にあるものがほとんど。クロワッサンにチョココロネ…、エイブルアート・カンパニーの登録作品にはたくさんパンの絵が並びます。描く対象にまつすぐな態度と力強い線。そしてなんだかにつっこりしてしまう、素朴な愛らしさが清水さんの作品の魅力です。

軍手を使つた「パオーストラップ」がまだかで商品化されたのが2012年。オリジナルで染められたカラフルな色とつぶらな瞳で一躍人気商品となりました。そんなパオーの下げ札用に清水さんが依頼を受けて描いたイラストがエイブル

アート・カンパニーのサイトを通じてデザイナーの目に留まり、かわいい靴下やハンカチとなりました。清水さんの手によつてよりシンプルなラインとなつた「パオー」はシルクスクリーンとの相性も良く、現在ではまどかのオリジナル商品としてロンバースやスタイなどのベビー用品にも進化しています。

ほかのメンバーの作業中も清水さんだけ絵を描いていることがあります。これは彼が「仕事」として絵を描くことに取り組んでいるからです。また仕事を頼まれると期待に応えたい、という意識の高さもあります。みんなが同じことをするのではなく、それぞれがプライドを持って仕事をする環境。それこそがものづくりの現場にとって、一番必要な要素であり、良い商品が生まれる条件となるようです。



社会福祉法人 円
まどか
仙台市太白区袋原4丁目37-1
022-302-4620
<http://www9.ocn.ne.jp/~madoka-s>

